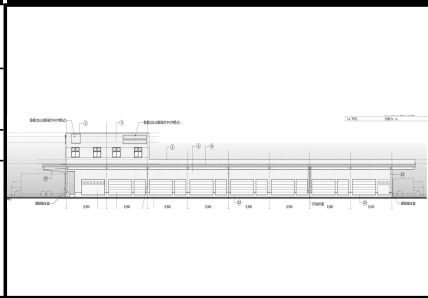


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	おうちCO-OP小田原センター新築工事	階数	地上2F
建設地	小田原市鬼柳字砂田261-2他	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年8月5日
敷地面積	8,361㎡	作成者	大和ハウス工業(株)南関東建築一級建築士事務所
建築面積	2,869㎡	確認日	2025年8月5日
延床面積	3,456㎡	確認者	大和ハウス工業(株)南関東建築一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B: ★★★★★★ B+: ★★★★★★ C: ★★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
小田原栄ICに接続する神奈川県道711号線沿いに事務所併用の物流倉庫を計画した	-	
Q1 室内環境 自然換気有効開口面積が事務室床面積の1/15以上	Q2 サービス性能 事務室の天井高さ 2.70m リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上	Q3 室外環境(敷地内) -
LR1 エネルギー BPI _m =0.68	LR2 資源・マテリアル 壁・天井部にLGSを採用して、躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。OAフロアも採用している。	LR3 敷地外環境 -

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される